

<生科連シンポジウム>

生物多様性が人類にとって必須である理由 —医。食。そして知と創造の源として—

2020年12月12日（土）13時～17時半頃、オンライン

企画：生科連地球生物プロジェクト委員会

プログラム

13:00-13:10

はじめに：小林武彦 生科連代表

セッション1 13:10-14:34

座長：委員会委員

- | | | |
|-----|---------------|----------------|
| 講演1 | 自然との共生を目指して | 中澤 圭一（環境省） |
| 講演2 | 生態系の中の人類 | 山野 博哉（国立環境研究所） |
| 講演3 | 医薬関係 生物資源の重要性 | 尾仲 宏康（東大） |

休憩（6分）

14:40-14:50

高校生「生きものの“つぶやき”フォトコンテスト」優秀賞作品発表
+審査委員からのコメント

14:50-16:14

座長：委員会委員

- | | | |
|-----|---------------|------------|
| 講演4 | 食料関係（昆虫が支える食） | 滝 久智（森林総研） |
| 講演5 | バイオメティクス | 針山 孝彦（浜医） |
| 講演6 | バイオロボティクス | 神崎 亮平（東大） |

休憩（6分）

16:20-17:30

パネルディスカッション（70分）

「生物多様性のポテンシャルについて一守りではなく攻める」

モデレーター：宮下 直

パネリスト：講演者6名+小林

おわりに：井関祥子 生科連副代表